

延岡学園ニュースレター
1周年記念



また、夏を迎えました
同中あるある談話、南中編、
カンタン調理科レシピ、夏にぴったり、へべすゼリー、



宮崎の特産品『へべす』を使って、夏にぴったりなさわやかゼリーをご紹介します！ レモンよりも酸味が少しまろやかで優しい味です♡

夏にぴったり Recipe へべすゼリー



材料(70g×5個)

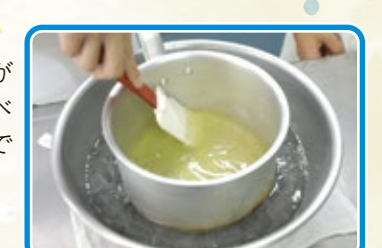
- | | |
|----------------|---------------|
| へべすの皮.....1個分 | はちみつ.....大さじ3 |
| へべす汁.....65ml | 粉ゼラチン.....7g |
| 水.....250ml | 水.....28g |
| グラニュー糖.....25g | |



② 手鍋にへべす汁・水・グラニュー糖を入れて火にかけ、グラニュー糖をしっかり溶かします。



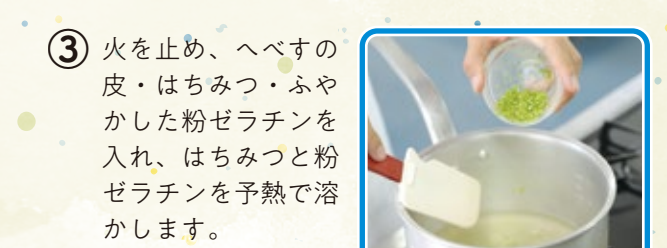
④ ボウルに氷水を入れ、手鍋を氷水にあてながら粗熱を取り、ゴムベラでとろみがつくまで混ぜます。



⑤ 型に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固めれば出来上がり！



① へべすの皮をみじん切りにします。へべすの皮の白い部分は、苦味が出るので取り除きます。粉ゼラチンを水でふやかしておきます。



③ 火を止め、へべすの皮・はちみつ・ふやかした粉ゼラチンを入れ、はちみつと粉ゼラチンを予熱で溶かします。

今月のレシピは、
わたし達が作りました。



塩月 明莉
ぜび作ってみたいですね。

興梠 耕一



朝の校門の【圧】がスゴい
——南中の文化って、何かありますか？
吉岡「朝、校門に入る時の、**挨拶の圧がスゴい**です」
国師「校門をにズラーッって並んだ陸上部とか生徒会の人たちが、登校した生徒を囲んで三方向から、『**抄はよう！ざいまあすつ！**』って」
横山「弓道部も並んでました（笑）」
吉岡「遅い時間に登校すると皆並んじゃってますます圧が強まるんで、なるべく早く登校してたんです」
深田「挨拶を聞けば『**あ！さてはお前、南中やろ！**』って判るかもしれません」



神尊先生、元気ですか～

横山「数学の先生ですね」
吉岡「身体と声がでかい先生です」
国師「あと……少々、まあ薄毛でらっしゃいます（笑）」
深田「授業中に配るプリントの枚数が足りない時、『先生、カミが足りません』って言ったら『**お前それ、俺のこと馬鹿にしちよっとか？**』って」
一同「（爆笑）」



【文化広報委員会】って！
吉岡「季節ごとに教室をデコったりするやつやってました」
——**ナニソレ！**——
国師「各クラスで、教室の後ろ側をデザインしたり飾ったりして、ランキングされるんですよ」
深田「俺、その採点をする【文化広報委員会】の委員長でした」

——**へ、それは見たいね。面白そう！**——
国師「文化広報委員会の人たちが、各クラスを回って点数つけていくんですよ」
瀧口「結構みんなガチでやってました」
吉岡「**先生も本気になってます**」
横山「他のクラスに偵察に行ったりね」
瀧口「絵描ける人とかはもちろん重宝されるんですけど、そういう人が居ないクラスでも『いらすとや（無料・著作権フリーのイラスト素材サイト）』とかで顔だけ自分たちの写真に差し替えたりして工夫してました」
深田「委員のやつが自分の教室に戻って、『点数抜かれたあゝ！やべえぞやべえぞ！』って報告に行ったり」
——**ランキング上位になると何かあるの？**——
横山「賞状がもらえます」



延岡学園に来た
同じ中学卒業の生徒たちが
卒業した中学校のローカル話で
盛り上がる企画です！

先月からお届けしている【同中あるある談話】の第二弾！延岡学園に来た同じ中学卒業の生徒たちが、卒業した中学校のローカル話で盛り上がる企画です。今回の中学校は**延岡市立南中学校**。本校に在籍する卒業生も多い南中の卒業生からは、一体どんなローカル話が聞けるのでしょうか？

まずは自己紹介！

深田「南中出身、延岡学園高校3年、調理科の深田 亮（りやう）です。好きな食べ物は【あはん】です！」

——**あはん……？**——
深田「【**アツアツ**】の【**アツアツ**】です！」
——**調理科なのに！（笑）**——

国師「同じく調理科1年の国師 拓磨（たくま）です。好きな役満は【**国士無双**】です。よろしくお願いします！」
——**……麻雀好きなんだね？**——
国師「やったことありません！」
一同「（爆笑）」

吉岡「普通科総合コース、工業専攻で音楽専攻、吹奏楽部やってくる吉岡 陸大（りくだい）です！よろしくお願いします！」
——**（普通の自己紹介だ、ホッとするw）**——
瀧口「南中卒業、調理科1年生の瀧口 来瞳（くるみ）です。昨日、先生から急に『明日、撮影するからヨロ』って言われました。」



ニキビが出来てるのに。先生絶対に許しません、よろしくお願いします」
——**それは……申し訳ございませんでした。**——
横山「南中卒業の、普通科総合普通コース1年生、横山 いちか（いちか）です。弓道部に所属しています。よろしくお願いします」
横山「私は大丈夫です（笑）」

早速ですが、南中のことを教えてください！

深田「ええ、と……あ、**くっせえ池があります！**」

一同「（笑）」

——**なにそれ、臭い池？笑**——

瀧口「はい、臭いです」
横山「棟と棟の間にあるんですけど、近く通ると臭いんです。あんまり寄り付きませんでした（笑）」
——**掃除とかは？**——

吉岡「掃除した日はマシです。でも翌日からもう臭いです」
国師「【希望の泉】みたいな名前でした」

深田「**完全に名前負け**です、絶望ではありますが」

面白かった先生とかいました？

深田「あー神尊先生ですかね」
——**神尊先生……、どんな先生なんですか？**——

南中のみんなが知ってるものと言えは？

瀧口「トウモロエンジェルですかね」

——**どうもろーえんじえる??**——

瀧口「各教室に、羽が生えて天使の輪っかがついてる犬が居るんです」

吉岡「その犬のところに、『ま・た・あ・し・た』の頭文字のあいいうえお作文みたいながあるんです」
横山「『ま』がまたね、『た』が楽しいね」
国師「『あ』がありがとう、『し』が……、何だっけ」

吉岡「なんか『しようね』とか『しましう』みたいな……、ここだけよく分かったんですけどね（笑）」

横山「最後の『た』が、なぜか濁点がついて『だいき』だったような……」

瀧口「要は、**友達に優しい言葉を使いましょ**うみたいな趣旨だったと思います」

深田「なんか、反対の存在みたいな、バッドなんちゃらみたいな無かったっけ」

一同「**あゝ、あったあった**」

——**トウモロエンジェルに対する対立概念**——
吉岡「いました、それは各教室には居なかったんですけど……」

——**へえ、じゃあどんなクラスに居るの？**——
深田「いやあ、知らんけど、荒れてるクラスじゃないですか？」

一同「（大爆笑）」

——**それはトウモロエンジェルみたいな名前はないの？イエスタデイデビル？**——

一同「**それは絶対に違う（笑）**」